

総合大雄会病院で入院された患者様・ご家族様へ
研究へのご協力をお願い

【研究課題名】

心不全患者における入院関連機能低下(hospital-associated disability : HAD) の発生要因に関する調査

【研究の意義と目的について】

近年、心不全患者の高齢化が進む中、入院期間中の安静によって身体活動が著しく制限され、ADL (Activities of Daily Living) の低下をきたす「入院関連機能障害 (Hospital-Associated Disability : HAD)」の発生が問題となっています。HAD は、退院後の生活の質や予後に影響を与える重要な要素であり、予防的なリハビリテーション介入の必要性が高まっています。一方で、HAD の発生要因は患者様の背景(年齢、併存疾患、身体機能など)によって多様であり、個別性の高い対応が求められます。本研究では、当院における心不全入院患者様を対象に、HAD の発生率とそれに関連する要因を明らかにすることを目的とします。

【研究の対象】

2024 年 1 月～12 月の間に当院へ心不全の診断で入院し、リハビリテーションを処方された患者様 (142 名) とします。

【研究期間】

当院倫理委員会承認日～2027 年 3 月 31 日までです。

【研究の方法】

評価項目として、以下を診療録から後方視的に調査します

入院前と退院時の日常生活活動内容 (Barthel Index)、年齢、性別、BMI、併存疾患、入院日数、心機能リハビリテーション介入開始日、リハビリテーション頻度、身体機能(筋力、歩行速度、バランス機能等)呼吸・循環・栄養指標などの各種検査、採血データとします。研究に伴う新たな医療行為や介入は一切ありません。

【個人情報について】

今回の研究では個人が特定されるようなデータは使用しません。その上でデータはパスワード管理されたパソコンで厳重に管理いたします。また、本研究の研究結果は学会等で発表を予定していますが、個人が特定される形で情報が公開されることはありません。研究が終了した時点でデータは消去します。

【本研究の利益相反】

研究に関連して開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

【研究代表者】

総合大雄会病院 リハビリテーション科 理学療法士 前口大海

【除外の申し出・お問い合わせ先】

診療情報が本研究に用いられることについて、ご同意いただけない場合には、研究対象から除外させていただきますので、下記連絡先までお申し出ください。その場合でもお申し出により研究の対象となる方に不利益が生じることはありません。また、本研究に関するご質問等がありましたら下記連絡先までお問合せください。

総合大雄会病院 リハビリテーション科 理学療法士 前口大海

〒492-8094 愛知県一宮市桜1丁目9番9号

TEL：0586-72-1211